

第1号議案

2015年度活動方針（案）

はじめに

世界に目を向けますと、ヨーロッパの政局不安や中国経済の減速など依然不安定な情勢が続いています。ギリシャで混乱が発生すればスペインやポルトガル、フランスなど他の国々に混乱は波及し、ユーロ経済全体が打撃を受け日本にも影響が懸念されます。

国内では、記録的な豪雪や土砂災害、御嶽山や桜島の噴火など自然災害が多く発生している中、ライフラインに携わる我々においては、自然災害からの早期復旧・送電が求められ、与えられた使命に全力で取り組んでいかなければなりません。

電力関連産業では、原子力発電所の長期運転停止により、電力各社の経営環境は不透明な状況にあり、継続した設備投資抑制や経営効率化などの影響が関連産業全体へ波及している状況にあります。依然として雇用を含めた将来に対する不安は払拭されておらず、我々働く者にとって、厳しい状況が続くと予想されます。

政治の動向に目を向けますと、アベノミクスに陰りが見えるなか憲法や集団的自衛権の改正に積極的に働く政府に対して、不信感が国民の中で生まれています。加えて、統一地方選挙では投票率が年々下がる傾向にあり、政治に対して関心が薄れているのも事実であります。そうした中、電力システム改革である第3段階の法案が通常国会で提出され、健全なエネルギー政策の実現と電力関連産業の発展を図っていくうえで、来るべく第24回参議院議員通常選挙の持つ意味が極めて重要であります。職場を守り、雇用と生活を守るため、「小林正夫」組織内候補予定者の必勝に向け、組織の総力を結集しなければなりません。

働く者を取り巻く環境が依然として厳しく、今後本格的な競争時代を迎えようとしている中で限られた人員で日夜懸命に努力している組合員と、その家族の生活安定に結びつくように引き続き意見提言を行ない、労使が一体となって働き方の構築をしていかなければならないと考えております。

最後に、これからも労働組合を発展させていく為には、組合員一人ひとりが語り合い、家族や仲間の繋がり、そして未来に希望と安心のもてる魅力ある環境づくりのを目指し、諸活動に取り組みます。

以下の内容で具体的な活動方針として提案いたします。

1. 明るくいいききとした活力ある組織づくりを目指します。

- 職場との『コミュニケーション活動』に重点を置き、対話活動ならびにオルグ活動を積極的におこない役員と組合員とのより一層の意思疎通を図ります。
- 労組教育制度に基づき、職場実践で適用できる人財育成を目指し学習会・研修会を通じリーダーとしての意識、知識向上により組織の強化・発展に結びつけていきます。
- 本部・上部団体からの要請に対し、積極的に活動を展開するとともに、地域活動についても連携をとりながら行います。
- 組合員とその家族の生活向上を目指した活動をおこないます。
- 生活に直結する政策活動の必要性と意識向上を図るために教育学習活動と、制度・政策実現に向けた活動をおこないます。
- 青年委員会は次世代を担う役員育成の場とし、社会人としての意識向上を図り、自主性・主体性をもった活動を展開します。また、社会貢献活動へ参画し、社会に適應できる組織人を目指します。

2. 身近な情報や新しい情報を迅速に提供できるように目指します。

- 機関紙『かたらい』の発行を通じて、地本活動の情報提供と職場組合員とその家族に向けた参画に努めます。
- 壁新聞『TOENEC・UNION・XpressMIE』の発行により、地本活動と各支部の情報を提供していき、職場組合員との認識統一を図ります。
- 地本諸活動に合わせホームページの更新を実施します。

3. ゆとり豊かさのある生活と、やりがい働きのいのもてる職場環境づくりを目指します。

- ワークライフバランスの実現に向け職場環境の構築、PR活動を展開します。
- ゆとりあるライフスタイルの実現に向け、計画的な年次有給休暇取得・連続休暇取得につながる取組みに努めます。
- 職場環境の変化に対応し、諸課題に対する意見提言に努めます。
- 災害のない職場づくりと、心身共に健康増進に向けて取組みます。
- 懇談会等の機会を通じて、職場環境の改善と業務運営に対する意見提言をおこないます。

4. 福利厚生・相互扶助の充実を目指します。

- 組合員とその家族にとって、より充実した共済事業を目指します。
- 余暇保養のPR活動をおこない、ワークライフバランスの一助に努めます。
- 地本ホームページを活用した取組みと、広報と連携した共済事業の情報提供に努め

ます。

○可処分所得を生み出す取組みと扶助活動を積極的に展開します。

5. 特別委員会を設置します。

○東海労働金庫の取扱い変更に伴う諸取組みを展開します。

6. 財政対策

○活動費の効率的運用に努めます。

○健全な財政基盤の構築に努めます。